

大田区サッカー協会少年部

＜2018年度 U12リーグ、Jrリーグ 大会要項＞

2018. 4. 1

- ※趣 旨 少年サッカーの発展を目指し、サッカーレベルの向上を目指すとともに大田区全域の交流を図る。
サッカーを通じて体力の強化及び健全なスポーツ精神の高揚を図る。
- ※基本理念 JFA の掲げる「**プレーヤーズファースト、リスペクト、フェアプレーベストサポート**」を大田区サッカー協会少年部でも基本理念とする。
- ※主 催 大田区サッカー協会
- ※参加資格 ①共通：2018年度「大田区サッカー協会」に加盟した小学生チームとする。
②U12：6年生・5年生を中心に編成したチーム（3年生の出場不可）
③U12：8ブロックリハウスリーグに主体的に出場していない選手で構成したチーム。
④Jr：4年生を中心に編成したチーム（3年生・2年生の出場可）
2学年下の参加を可とするが、選手の安全に十分配慮すること。

《特記事項》* 8ブロックリハウスリーグに主体的に出場している選手は大田区U12リーグには出場できない。現在、8ブロックに登録していないチームでも大田区以外のチームで8ブロックに登録・出場している選手が所属している場合も考え方は同様。
主体的に出場していない選手についての大田区U12リーグの参加判断については、チームマネジメントに委ねる。

*複数エントリー（U12リーグ、Jrリーグ）

同一リーグ2チーム以上エントリーの場合・・・重複して出場することはできない。
選手は同期内1チームのみの出場とする。

U12：5年または6年中心であればチーム内の編成はチームマネジメントに委ねる。

4年生の出場は1選手1チームであれば出場・人数に制限はない。

Jr：4年生が各チーム6人以上所属（2チーム⇒12人以上、3チーム18人以上）

*4年生のU12・Jrリーグ重複出場

1選手に対してJrリーグ1チームとU12リーグ1チームとの重複出場を認める。

Jrリーグ複数エントリーの場合はJrリーグ内で重複出場することはできない。

5年生女子のJr参加は原則不可。

但し当日人数不足の場合に限り、事前に協会に連絡した上で出場を認める。

*大田区内でのクラブ移籍の対応

移籍前クラブでのリーグ戦出場があった場合、移籍後のクラブでの同期内リーグ戦出場不可。

ただし、前期中（後期エントリー前）の移籍の場合、後期のリーグ戦への出場は認める。

区外からの転校などによる移籍の場合は、移籍時期にかかわらず出場を認める。

*複数エントリーチームのチーム編成（選手の入替え）

前・後期それぞれのリーグ開催中の入替えは不可。前期と後期の編成変更は可能。

*大田区サッカー協会主催の公式戦は、他のサッカー協会、連盟等の組織に加盟するクラブとの複数出場は原則認めない。（8ブロックに同一クラブで出場している場合は除く。）

*チームそれぞれの状況をチーム状況確認票に記載。

※参加費 1チーム**8000円** (U12・Jrともに) ×チーム数
振込先は協会共通です。別途資料にて確認の上お振り込みください。

※開催期間 前期4月～9月(原則8月は除く) 後期10月～1月
進行具合により、前期終了、後期開始、後期終了は前後します。

※会場 六郷グラウンド ガス橋少年用グラウンド **昭和島グラウンド** を中心に開催。

※運営方法 *8人制(審判3審制)で実施。

*試合時間

U12:20分-5分-20分 Jr:15分-5分-15分

ハーフタイムは前半終了の笛から後半開始までの時間とする。

ただし、特別な事情がある場合には適切な時間設定を検討し対応する。

*リーグ戦の順位決定方法 <①⇒②⇒③⇒④⇒⑤の優先順で順位決定>

①勝ち点:勝ち3点 引き分け1点 負け0点 (不戦敗-1点)

勝点と同じ場合:②得失点差 ③総得点 ④当該チーム同士の対戦成績 ⑤PK戦又は抽選

⑤PK戦について:現場で気づき実施できる場合、中立チームの審判のもと、時間を調整して

実施する。(3人PK、4人目以降サドンデス)

後日気づいた場合、両チーム抽選希望の場合のみ抽選。

PK戦の希望の場合は、日程を調整して後日実施する。

*リーグ・ブロックの設定および昇降格

○U12リーグ

3部制で前期と後期を行う。各期の成績により次期の昇降格決定。

1部1ブロック 2部2ブロック をベースにチーム数により3部で適切に調整

1部9チーム 2部各ブロック8チーム 3部各ブロック6～8チームで調整

【使用グラウンドが増えたこともあり、試合数増の方向で調整】

【昇降格】<前・後期共通>

1部・2部の入れ替え:1部下位4チームが2部降格 2部各ブロック1・2位が1部昇格

2部・3部の入れ替え:3部のブロック数によって調整

○Jrリーグ

前期:3年生大会の成績をもとにシードチームを決定。シード確定後オープン抽選。

後期:前期成績により順位ブロックを自動編成。

前・後期で10～12試合程度になるようブロック数を調整する。

<<2018年度 前期U12のブロック編成>>

1部・2部のチーム数増加のため、昇格チームを2部・3部の各1・2位チームとしました。

以下に列記したチームは今年度後期からの継続として示したもので、クラブのチーム登録状況によって調整する可能性があります。

登録減に伴って外すチームの選択はクラブ判断に委ねられます。

また、A・B・Cの指定もクラブ判断のため、①②③で表記してあります。

1部:2017後期 2部各1・2位昇格 (9チーム1ブロック)

【残留】大森FC ミッキーSC① 馬込FC① 山王キッカーズ① フェニックスFC

【昇格】池雪FC① 池2FC 蒲田ボンバーズ 萩中羽田SC①

2部：2017後期 1部6・7位降格 2部各3～5位残留 3部各1・2位昇格（8チーム2ブロック）

【降格】入二FC① 馬三SC①

【残留】開桜FC 東京チャンプJr① 大三SC 下丸子SSC① ヴィクトワールSC ドリームスSC

【昇格】東一FC① 大森キッカーズSC 小池FC 下丸子SSC② 入二FC② 大田クラブ 中萩YF① 洗足池FC

3部：2017後期 2部各6・7位降格（6～8チームでブロック編成）

【降格】FCハイロウズ東京 池雪FC② 池上FC① 東一FC②

【残留】ミッキーSC② 調布大塚SC 山王キッカーズ② 徳持FC 田園調布FC 蒲田ウイングス
馬込FC② 入一FC 相生フェルサ 久が原SC 東京チャンプJr② FCウィンズ 中萩YF②
糀谷FC 仲六キッズFC 池上FC② 松仙FC 馬三SC② 池雪FC③ 萩中羽田SC②

*同クラブ複数チームエントリーの扱い

複数チームエントリーは【※参加資格《特記事項》】に準じて行い、当該クラブは各チームに対応できるよう責任をもって準備する。

原則として、同クラブのABチームが同ブロックに入らないようできるだけ調整を行う。

ただし、U12昇降格で調整ができない場合およびJrリーグ順位ブロックについては、同ブロックに同クラブのABチームが入ることがある。

年度や各期の変わり目においてチーム減がある場合、減らすチームはクラブの判断で決定。

後期における追加参加は U12：3部 Jr：下位 のブロックに加える。

※競技規則 *日本サッカー協会「競技規則」に準ずる。

年度途中のルール改訂は、原則翌年度からの適用とする。

*日本サッカー協会「8人制サッカールール」を一部採用する。

*東京都少年サッカー連盟が定めた事項を一部採用する。

*試合開始時に8人揃っている事。

レッドカードによる退場時に控え選手がいる場合は、補充して試合を続行する。

退場および負傷者により出場可能な選手が8名を下回った場合、6名まで試合続行。

5名以下は打ち切りとし、対応は協会の預かりとする。（対応は協会で検討後に通達する）

*人数不足や連絡ミスなど当日の試合キャンセルに関しては不戦敗（スコア0-3勝ち点-1）とし、再設定を行わない。但し、流行性・伝染性の病気（インフルエンザなど）の場合を除く。

流行性・伝染性の病気によるキャンセルの場合でも必ず連絡をお願いします。

前日（関連チームに連絡可能な時刻）までに連絡があった場合は再設定する。

*試合時のユニフォームは、審判のジャッジに支障のないよう、各チームの判別がしやすい色合いになるよう試合前に調整する。（やむを得ない場合、必要に応じてビブスでの対応可）

*ベンチの選手・コーチは、ピッチ内の選手と被らないよう配慮する。（ビブス等を着用）

*インナーウェアは色をチームで統一すること。（ユニフォームと同色でなくても可）

*原則、眼鏡は身につけない。（割れない素材のスポーツタイプの物は使用可）

*選手・審判は試合開始10分前には必ず集合し、用具・爪等のチェックを行う。

*ボールは4号球を使用する。試合球は各チームで用意する。（空気圧の基準：0.6～0.8）

*レッドカードの対象選手は次のリーグ戦1試合に出場出来ない。また当該試合が再設定となった場合、再設定試合も出場は認められない。

*レッドカード対象選手の出場停止に関しては、原則協会では管理しない。上記定めに従いチームで対応する。ただし問題があった場合は理事会、常任理事会にて協議する場合がある。

*フリー交代制（同じ選手が何回でも交代できる）。

フィールドプレーヤーはインプレー中に主審に告げないで交代できる。

ゴールキーパーはアウトオブプレー時に主審に告げて交代する。

ベンチサイドのハーフウェイライン両側3mの交代ゾーンから、選手の出入りを行う。

*ベンチはコーチ3名以内とする。給水補助のための保護者ベンチ入りはチーム判断（2名以内）
で可能ですが、その場合のベンチでの応援は控えください。

*応援サイドはベンチと逆サイドとする。～～応援は節度をもってお願いします！～～

*給水タイムについて

概ね前・後半それぞれの半分の時間を目安に、アウトオブプレー時に主審の合図で行う。

1分間を目安とし、ロスタイムにカウントしない。

選手はピッチから出ない。コーチからの戦術的指示は行わない。

給水タイム中に交代は行わず、再開インプレー後に適切に交代する。

アウトオブプレーとなった場所から、主審の合図で適切な再開方法で再開する。

《給水タイムの基準となる温度》

・4種	WBGT（湿球黒球温度）	乾球温度	湿球温度
	25℃	28℃	21℃

※審判

*3審制とする。（主審一名、副審二名、予備審はおかない）

*原則として審判資格を持つ人が行い、ワッペンを付ける。

*原則として審判服は黒色とする。（審判服として販売されているもの）

*冬季、黒系のインナー、手袋の着用は可。ニット帽、ネックウォーマーなどの着用は不可。

*眼鏡の使用は不可とする。やむを得ず必要な場合、ゴーグル式の安全なものとする。

*フェアプレー精神あふれる行動やリスペクトに値する行動をとった競技者に対し、

《グリーンカード》の提示を推奨する。

*試合終了後、試合結果報告用紙に結果を記入し、サインする。（できるだけ副審も立ち合う）

※競技フィールド *推奨サイズ U12リーグ：68m×48m Jrリーグ：60m×40m

ゴールエリア：4m ペナルティエリア：12m PKスポット：8m

ペナルティアーク：7m センターサークル：7m コーナーアーク：1m

交代エリア：センターラインより3m

ただし、会場や特別な事情などを判断し適切に対応が必要な場合がある。

※注意事項 *協会の大会本部は設置しない。各試合該当チームでの試合運営をお願いします。

第一試合開始までの流れ

①設営（ピッチづくり・用具準備）

②代表者打ち合わせ（ユニフォーム、審判打ち合わせ、季節により給水を入れるかなど）

*選手、審判の集合時間は必ず守り、試合開始時間を厳守する。

～試合進行に各チームご協力を！～

*駐車・駐輪

○駐車：グラウンド指定の駐車場、近隣のコインパーキングを利用すること。

薬局、ファミレスなど店舗への違法駐車は絶対にしない。

○駐輪：一般の歩行者・利用者に迷惑とならないよう、決められた場所・決められた範囲内にできるだけ詰めて整列させて停めること。

***試合結果の記録および報告**

①設営時に記録用バインダーをセッティングする。

(バインダー保管場所 六郷：倉庫、ガス橋：石灰倉庫 昭和島：管理事務所倉庫)

バインダーにはチーム名など入れていない記録用紙を複数枚挟んでおきますが、当日のスケジュールを記録用として持参し、それを挟むと記録が楽だと思います。

②バインダーをかけておく

六郷：1号面の看板に ガス橋：ベンチ間の植木に 昭和島：テーブルを出しその上に置く

③記入する

各試合終了時に主審が得点を記録用紙に記入し、サインする。(できれば副審立ち合いで)

④結果報告

最終試合の主審(チーム)がその日の結果を全て記録または写真におさめ、協会にメール本文または写真添付で連絡する。(写真添付の場合、チーム名・結果が読み取れるか確認してから添付して下さい)

⑤バインダーを保管場所に片付ける

***リスクマネジメント**

○六郷グラウンドでは、割り当てされたチームはAEDの設置・返却を担当する。

AEDは管理事務所まで取りに行き、17時までに管理事務所に戻却する。

○急な気象変化にはご注意ください。

雷：打ち切り中止。速やかに撤収すること。

ひどい強風：六郷グラウンドのゴール固定状況を確認すること。

○六郷グラウンド、野球グラウンド横のスペースでのアップは禁止。

***試合運営担当**

○担当チームは担当者を決め、協会やクラブからの連絡を受けられるようにしておくこと。

(人選はチームに任せるが、できるだけクラブ代表も承知しておく。本部張り付きは不要。

苦情が入った場合などに、協会 ⇒ クラブ代表 ⇒ 運営担当者 と連絡が入る場合がある)

○トラブルがあった場合、協会に報告する。可能であれば、その場で対応・解決が望ましい。

～～日経ってからの調査はこじれたり、事実確認が難しくなります。～～

***緊急連絡** 必要な場合は下記少年部理事へお願いします。

菊地 (090-8506-7287)

岩井 (090-4603-9387)

※罰則規定 ①不都合日申請を提出しないチーム

②連絡未確認等による当日の出場辞退(キャンセル)

試合の有無に関係なくリーグ戦・大会による審判割り当て、設営、撤去等の業務を割り当てる。

審判については変更で影響を受けた対戦チームの割り当て分を差し替える。